

1 災害に強い安全なまち

〈基本方向〉	〈重点目標〉
<p>防潮堤等の海岸保全施設や幹線道路、避難道路の整備を促進するとともに、防災計画の再整備、救援・救護体制の整備など、防災体制の再整備による「津波防災」と「減災」を組み合わせた多重防災型の災害に強い安全なまちづくりを進めます。</p>	<p>○「海岸保全施設」、「まちづくり」、「ソフト対策」を組み合わせた複合対策を図ります。</p> <p>○防潮堤、三陸縦貫自動車道、国道45号、国道340号、国道343号、主要地方道大船渡・広田・陸前高田線、一般県道陸前高田停車場線、鉄道などの骨格となる社会資本整備とまちづくりとの連動による総合的に災害に強いまちの再構築を図ります。</p> <p>○高田松原地域については、防潮堤、海岸防災林の整備促進を図るとともに、背後地は国営等による防災メモリアル公園の設置を促進し、海と緑が織りなす松林を再生します。</p> <p>○市街地については、複数の南北方向の避難道路と東西方向の避難道路（アップルロードの延伸）の整備を促進します。</p> <p>○海岸地域の低地部は、東日本大震災による津波の浸水区域や防潮堤等の整備を考慮し、移転促進区域の設定を基本に非居住区域とするとともに、住居地域の高台への移転等を計画します。</p>

2 快適で魅力のあるまち

〈基本方向〉	〈重点目標〉
<p>防潮堤等の海岸保全施設や幹線道路、避難道路の整備を促進し、防災性や利便性を考慮した土地利用の創出、災害時のみならず市民生活や経済活動にとっても快適で魅力ある都市空間、都市機能を創出するまちづくりを進めます。</p>	<p>○高田地区を中心とする新しい市街地は、東日本大震災の津波による浸水を免れるよう高さを確保し、低地部のかさ上げ等を行ったうえで、公共・公益施設、商業ゾーン、住宅街を配置、再開発します。</p> <p>○今泉地区は、東日本大震災の津波による浸水を免れるよう高さを確保し、低地部のかさ上げ、また西側丘陵部の開発により、歴史的な建物等の復元に配慮しながら歴史を受け継ぐ新しいまちを再生します。</p> <p>○下矢作地区、竹駒地区は、地元意向に対応した現位置での住宅再建を促進するとともに、長部地区、米崎地区、小友地区、広田地区は、漁家の生産活動等に配慮しながら、高台移転等を計画します。</p> <p>○学校、病院、消防署、文化施設、市役所等の公共施設は、施設の利便性や災害時における避難、機能の保全等を考慮し、高台や新市街地への配置を検討します。</p> <p>○公共交通環境については、道の駅、JR駅、バスターミナル、学校、病院、商業施設等への利便性や快適性に配慮し、市域内の新しい交通環境や広域ネットワークの構築を図ります。</p> <p>○高台等の住宅開発地域は、文化財、地形や自然景観に配慮するとともに、エコタウンとして開発します。</p> <p>○海岸地域の低地部は、防災性や安全性、景観等に配慮し、産業用地、公園、緑地帯等の利用を基本に、公有地化を促進します。</p>

3 市民の暮らしが安定したまち

〈基本方向〉	〈重点目標〉
<p>公営住宅、学校、病院等の医療施設、スポーツ施設、文化施設等の公共施設の再建をはじめ、教育、保健、医療、介護・福祉サービス、市民サービスの回復など、安定した市民の暮らしを再興します。</p>	<p>○高台に集積する公共施設（県立高校、県立病院等）は、緑に囲まれた「健康と教育の森ゾーン」として整備促進を図ります。</p> <p>○市民生活や地域に密着した民間医療施設、郵便局、金融機関、商業店舗などが配置されるよう再建を支援します。</p> <p>○野球場等のスポーツ公園を整備し、合宿等市内外からの通年利用を促進します。</p> <p>○県立野外活動センターは、広田半島地区への移転を検討します。</p>

陸前高田市震災復興計画〈概要版〉

～「海と緑と太陽との共生・海浜新都市」の創造～

● 策定の趣旨 ●

- ・東日本大震災の猛威や恐ろしい経験と津波防災、減災への教訓を謙虚に受け止め、一刻も早く仮設居住を解消し、被災者の生活再建を図るとともに、地域産業の再生と発展を目指し、市民が安心して暮らし、働くことのできるまちづくりに全力を挙げて取り組まなければなりません。
- ・将来に向けて希望と夢と安心のもてる新しい本市の復興ビジョンを示すとともに、本市の創生と活力向上に繋がる陸前高田市復興計画を策定し、多くの方の協働、連携により本市の復興を実現しようとするものです。

● 災害の状況 ●

〈地震の状況〉

発生時間	平成23年3月11日(金)14時46分
震源地	三陸沖
震源の深さ	約24Km
地震の規模	マグニチュード9.0
当市の震度	震度6弱

〈人的被害状況〉

総人口	24,246人	住基人口 ※平成23年3月11日現在
生存確認数	22,270人	※平成23年11月21日現在
死亡者数(震災分)	1,656人	市民で身元が判明し、死亡届の出された人数
〃(その他)	225人	病死、事故死など
行方不明者数	72人	安否確認要請のあった人数
確認調査中	23人	

● 陸前高田市災害状況写真 ●

▼地震前(平成22年10月18日・29日)



▼地震後(平成23年3月13日)



● 計画の構成と期間 ●

